

前期基本計画進捗状況評価シート

施策名	目標 (KPI)	総合戦略	当初値	目標値	実績値【R3】	令和3年度の取り組み状況	今後の取り組み	担当課
【2】多様な魅力を生かした活力あふれるまち								
(1) 観光の振興	宿泊客数	○	3,002,800人	3,250,000人	1,704,326人	観光ブランドプロモーションほか	コロナ禍における、新しい旅のスタイルに適応した誘客施策の促進	観光経済課
	観光消費額		918.9億円	930.0億円	499.2億円	観光ブランドプロモーション等による誘客を図ったがコロナの影響により宿泊客数、観光消費額とも低調であった	観光消費額の増加を目指し、高付加価値化事業の推進に取り組む	観光経済課
	市民満足度		—	70%	—	市民アンケート未実施のため調査データなし	観光振興を進めるうえで、地域住民への理解の向上、地域経済への貢献が図られるよう取り組む	観光経済課
(2) 商工業の振興	市内小売・飲食・サービス業の法人市民税申告額（市内本店事業所分）		卸売・小売業 29,629千円	36,398千円	16,773千円	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した市民クーポン事業(R2繰越明許)による申請登録事業者658社のうち、481社より165,214,500円の交付申請があった(事業者により法人市民税申告時期が異なる)。卸売・小売業207/253社40,346,500円、飲食店・宿泊業206/310社107,905,000円、その他サービス業68/96社16,963,000円。(交付申請社数/登録申請社数 交付申請金額)	中小企業事業者支援業務を通じてプッシュ型支援など新しい取組を行っていく。	観光経済課
			飲食店、宿泊業 28,839千円	35,428千円	15,441千円			
			その他サービス業 17,064千円	20,962千円	15,213千円			
	事業承継支援数(累計)	○	—	10件	0件	事業者相談においてチーフアドバイザーが不在になったことが要因の一つと考えられるが、熱海チャレンジ応援センターを通しての事業承継相談がなかった。	中小企業事業者支援業務においてきめ細やかな対応を行い、空き店舗とならないよう注力していく。	観光経済課
熱海市チャレンジ応援センター相談数		1,066件	1,150件	798件	事業者相談においてチーフアドバイザーが不在になったことや長引くコロナ禍による営業自粛の影響によるものと考えられるが、熱海チャレンジ応援センターへの事業者相談件数が激減した。	中小企業事業者支援業務において新体制について広くアピールし、コンサル会社の知見を活用し地域経済活性化の創出に繋げていく。	観光経済課	
(3) 起業・創業の支援と雇用の創出	熱海市チャレンジ応援センターの伴走型支援による創業及び新分野進出数	○	9件	10件	8件	伴走型支援による令和3年度創業実績6件、新産業創出実績2件。	中小企業事業者支援業務において新体制を組むなかでプッシュ型で成果増加を目指す。	観光経済課
	市内従業者数(事業所単位)		19,637人	20,000人	19,637人	— (R3年度経済センサス該当項目は2023年6月公表予定)	—	観光経済課
(4) 農林水産業の振興	第1次産業従事者人口		265人	267人	—	安定した漁獲量を確保するため稚魚や稚貝、種苗放流を実施して、水産資源の維持に取り組み、新規就農希望者への情報提供を行った。(該当項目の調査実施は2025年予定)	安定した漁獲量を確保するため稚魚や稚貝、種苗放流を継続し、水産資源の維持に取り組み、適切な森林環境維持に向けた情報把握及び発信を行っていく。	観光経済課
	認定新規就農者数		2人	4人	2人	新規就農希望者への情報提供を行い、6名の新規就農者がいたが、認定新規就農者までに至らなかった。	新規就農希望者への農地の情報提供や、活動支援及び助成の実施を行い、認定新規就農者数の増加を目指す。	観光経済課
	農地への鳥獣被害面積		895a	720a	1,324a	市では鳥獣害防止対策の補助金による被害防止補助、熱海市実施隊によるイノシシなどの駆除を実施している。山から町に下りてくる鳥獣は猟友会による狩猟を委託している。R3年度の農作物被害の39.6%がイノシシ、31.7%がハクビシンであった。被害面積は増加傾向にあるが農作物の被害量は減少傾向にあった	市では捕獲の質向上と規模を拡大する。捕獲効率化の為に実施隊のワナの数を増やし、実施業務の規模を拡大して対応する。鳥獣生息マップを利用し、県、猟友会、ワナの会と協力し効果的駆除に努める	観光経済課